

20 摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)(現 大阪市浪速区難波中・中央区難波付近)
ア7-10-7-3~6

資料 番号	文書群名	表題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書など	説明・注記	主題
1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	下難波砂開之帳	慶長14.11.吉	木野少左衛門、田辺九郎兵衛	—	写	縦帳	1冊	24.6×17.8	虫損小			砂畑22筆、合計1町5反8畝20歩、分米9石5斗2升	土地
2	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州下難波永荒改帳	寛永18.10.-	三郎九御印	—	写	縦帳	1冊	24.7×17.7				畑9筆、合計8反6畝8歩、分米10石2斗8升9合	土地
3	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成之内下難波村葭開検地帳	正保2.9.-	鈴三郎九御印	—	写	縦帳	1冊	24.6×17.5			(奥注記)「墨付三拾枚、外上紙貳枚」	田合計27町2反23歩、分米249石5斗9升	土地
4	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成之内下難波村開検地帳	明暦2.11.-	鈴三郎九御印	—	写	縦帳	1冊	24.8×17.5	背巻き部分破損中		(奥書)「右帳面之通年貢諸役等可相勤者也」、(奥注記)「紙数五拾七枚、但上紙共」	反畝合計13町5反4畝21歩、分米149石5合	土地
5	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	下難波村堀河之端流作検地帳(間数改めにつき)	寛文5.9.-	庄屋長治郎印、年寄南之惣左衛門印、同たんこ久左衛門印、ほか13名	御代官様	写	縦帳	1冊	24.7×17.7	虫損小		(奥注記)「差上申候上之ひかへ 但なき之樋よりひかし之分也」	11筆分、東西南北の間数を表記、合計7畝20歩	土地
6-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成郡下難波村検地帳一番控	延宝5.6.23	青山大膳亮内検地惣奉行山口治部右衛門、検地元メ久代佐右衛門、同松下吉右衛門、ほか検地奉行14名、下難波村庄屋1名、同村案内者8名	—	写	縦帳	1冊	26.7×19.2			(奥注記)「墨付百六拾三枚之内、落字・付(字脱)・けつりめなし」	1筆ごとに古検データと間数を記載。表紙裏にカタカナ印につき凡例の貼紙あり。「堀江御用地」分の1~54丁は地番なし。以後、口印1~552、ハ印1~81の地番を押紙にて付ける。「生玉社領」「御蔵御用地二入」などの付箋多し。防虫用薬包の挟み込み2点あり	土地
6-2	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成郡下難波村検地帳二番控	延宝5.6.23	青山大膳亮内検地惣奉行山口治部右衛門、検地元メ久代佐右衛門、同松下吉右衛門、ほか検地奉行14名、下難波村庄屋1名、同村案内者8名	—	写	縦帳	1冊	26.9×18.8	表紙虫損小		(奥注記)「墨付百四拾六枚之内、落字・付字・けつりめなし」	1筆ごとに古検データと間数を記載。ハ印82~481、二印(屋敷)1~452の地番を押紙にて付ける。「生玉(社)領」「幸町御用地二入」などの付箋多し。防虫用薬包の挟み込み1点あり	土地
6-3	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成郡下難波村検地帳三番控	延宝5.6.23	青山大膳亮内検地惣奉行山口治部右衛門、検地元メ久代佐右衛門、同松下吉右衛門、ほか検地奉行14名、下難波村庄屋1名、同村案内者8名	—	写	縦帳	1冊	27.0×19.3			(奥注記)「墨付百五十八枚之内、落字・付字・けつりめなし」	1筆ごとに古検データと間数を記載。二印(屋敷)453~550、ホ印1~284、ヘ印1~478の地番を押紙にて付ける。ただし「穢多屋敷」分は地番がなく、屋敷の畑成り・御用地入りを押紙で示す。ホ印9番に上難波村3筆の下難波村入り等につき付紙あり。ホ印10~56番まで「幸町御用地二入」の付箋あり。防虫用薬包の挟み込み1点あり	土地
6-4	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成郡下難波村検地帳四番控	延宝5.6.23	青山大膳亮内検地惣奉行山口治部右衛門、検地元メ久代佐右衛門、同松下吉右衛門、ほか検地奉行14名、下難波村庄屋1名、同村案内者8名	—	写	縦帳	1冊	27.0×18.9			(奥注記)「墨付五拾七枚之内、落字・付字・けつりめなし」	惣寄(176町3反8畝16歩、高2172石2斗1升)、その他葭島・水掻地記など記載。最奥に除地(薬師堂屋敷・乞食屋敷・竹林寺・墓所)を記す。水掻地に付箋多し。防虫用薬包の挟み込み2点あり。表紙裏の朱書貼紙から、文化8年頃の写と推測される	土地
7	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	[木箱] (「御検地帳写三冊／摂州西成郡下難波村」)	[近世後期か].-.-	池田	—	原	木箱	1点	30.7×24.4×24.8		7の木箱に7-1~3を収納		深い被せ蓋の専用木箱、傾き補正用に紺紙を張った三角台が付属。背面の墨書「池田」は鏝で消されているが、「S56・池田家」との貼紙がある	土地
7-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成郡下難波村検地帳写壹番	延宝5.6.(23)	—	—	写	縦帳	1冊	26.4×20.5	表紙汚損小	7の木箱に7-1~3を収納	(表紙貼紙)「此帳面 小田・東河原・南河……手・円手・前川、但八十一迄」(地名16)	表紙綴じ目に「難波村」印、小口に地名の見出しを付ける。1丁表にカタカナ印につき凡例あり。1筆ごとの古検データと間数は記載なし。名請人変更の付箋、「生玉社領」印多し。堀江・御蔵・銭座などの御用地に召上げられた土地は朱字で注記。防虫用薬包の挟み込	土地
7-2	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成郡下難波村検地帳写貳番	延宝5.6.(23)	—	—	写	縦帳	1冊	26.5×20.4	表紙汚損小	7の木箱に7-1~3を収納	(表紙貼紙)「此帳面 前川・西浦手・神田……池田・吉原跡・屋敷但[]」(地名等16)、(中表紙裏に貼紙)「まへ川中程より南へ検地」	表紙綴じ目に「難波村」印、小口に地名等の見出しを付ける。1筆ごとの古検データと間数は記載なし。名請人変更の付箋、「生玉社領」印多し。田畑の屋敷成り、幸町御用地入り、長堀表・生玉替地等は朱字で注記。屋敷には間数記載。表紙裏に下難波村色分け略図を貼付。防虫用薬包の挟み込み1	土地

20 摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)(現 大阪市浪速区難波中・中央区難波付近)
ア7-10-7-3~6

資料 番号	文書群名	表題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書など	説明・注記	主題
7-3	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂州西成郡下難波村検地帳写三番	延宝5.6.(23)	—	—	写	縦帳	1冊	26.4×20.3	表紙汚損中	7の木箱に7-1~3を収納	(表紙貼紙)「此帳面 屋敷・おい通・南築……西側・中塩艸・南塩艸・小田」(地名等25)	表紙綴じ目に「難波村」印、小口に地名等の見出しを付ける。1筆ごとの古検データはなく、屋敷以外は間数の記載もなし。名請人変更の付箋、「生玉社領」印多し。地目変更、幸町御用地入りは朱字で注記。表紙裏に「検地御帳面順朱引」絵図を貼付	土地
8	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	御検地帳末四番高反別増減帳難波村	[近世後期].-.-	—	—	原	縦帳	1冊	24.2×17.4	虫損小			6-4の惣寄をもとに、御用地入りなどを朱字で記載、地目・等級別に増減を算出。8・9同内容。付箋外れ1点あり	土地
9	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	御検地帳末四番高反別増減帳難波村	[近世後期].-.-	—	—	原	縦帳	1冊	27.8×19.1	虫損小			8・9同内容。8を清書したものと考えられる。奥に生玉社領に関わる堀江御用地につき別紙貼付	土地
10	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	御検地帳末四番書入有之葭場訳書帳 難波村	[近世後期].-.-	[池田]	—	原	縦帳	1冊	27.0×19.5	虫損小		(裏表紙)「池田」	6-4の入川畑・葭島・荒場・池床の記載をもとに、朱字で1筆ごとに延宝検地以降の状況につき説明を加えたもの	土地
11	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	瑞竜寺地替書付覚	延宝7.-.-	—	—	写	縦帳	1冊	27.0×18.8	虫損小			後に瑞竜寺境内になった9筆の畑につき延宝検地帳より抜書きし、「瑞竜寺」の付箋を貼り、まとめたもの。9筆畑は延宝7年4月25日に寺が買入れ	土地 寺院
12	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂津国西成郡難波村之内向島検地帳 写	享保11.8.-	久下藤十郎手代神崎為右衛門・橋本領助、案内難波村庄屋甚左衛門ほか同村年寄7名	—	写	縦帳	1冊	27.1×19.2	虫損小	奥に12-1を貼付	(奥書)「右之通令検地相極置者也、久下藤十郎」 (奥注記)「墨付九枚、落字・付字・削目なし」	計33筆の畑の全てに名請人変更の付箋あり。付箋に「東ノハシヨリ西へ」戊1~33の地番が付く	土地
12-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	覚(大坂城火除地の代地渡しのため減高につき)	享保10.6.-	久下藤十郎御印	摂州西成郡難波村庄屋・年寄・百姓	写	切紙	1通	26.4×24.2		12の奥に貼付		33石7斗3升2合の御用地減高で難波村幕府代官領は1447石5斗5升となる。12とは別内容であるが、年号が近く、同じ代官の文書なので、一括したと考えられる	土地
13	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	[帙](生玉「社領地並帳」)	[近世後期か].-.-	—	—	原	帙	1点	30.5×24.3	虫損小	13の帙に13-1・2を収納		文字は黒漆、帙の周囲・折目を黒漆で補強	土地 神社
13-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	地並帳 生玉社領	[近世後期].-.-	—	—	写	縦帳	1冊	27.3×19.6		13の帙に13-1・2を収納		丁表左上に朱字で小字を記し、見出しとする。冒頭の「東河原」「南河原」計24筆のみ合印あり。「東河原」から「小田」まで、朱の地番付き(1~306)。最後に屋敷をまとめる。付箋多し。防虫用薬包の挟み込み1点あり	土地 神社
13-2	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	地並帳 生玉社領	[近世後期].-.-	—	—	写	縦帳	1冊	30.5×22.9	虫損小	13の帙に13-1・2を収納	(表紙裏貼紙)「享保年中二御料・社領相……面遣し、其時之名前書也」(地に記載)「社領地並帳 壹冊」	丁表左上に朱字で小字を記し、見出しとする。「東河原」から「小田」まで、朱の地番付き(1~306)。最後に屋敷をまとめる。名請人変更の付箋多し。裏表紙内に亀絵図貼付。防虫用薬包の挟み込み1点あり	土地 神社
14	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂津国西成郡難波村新田検地帳 写	延享4.7.-	御代官渡辺民部、手代宮島林右衛門、同大谷重蔵ほか1名、案内9名	—	写	縦帳	1冊	27.1×19.1			(奥注記)「表紙共五枚、削字なし」	表紙に内容摘要貼紙。「鼈川端、なき樋より東、清水井戸迄」の下々畑8筆、合計9畝15歩、高5斗7升。名請人変更の付箋に、卯1~8の地番あり	土地
15	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂津国西成郡難波村新田流作反高検地帳 写	宝暦8.4.-	御代官萩原藤七郎、(手代)山田儀助・安田専蔵ほか2名、案内10名	—	写	縦帳	1冊	27.2×19.2			(表紙裏貼付袋)「立葭場絵図式枚入」 (奥注記)「紙数表紙共五枚、削字なし」	表紙に内容摘要貼紙。「鼈川筋堤外」の葭場8筆、合計1町2反9畝3歩、全て村持。付箋にて1~8の地番あり。表紙裏の袋の絵図はなし	土地
16	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂津国西成郡難波村新田検地帳 写	明和2.7.-	御代官内藤十右衛門、手代大塚富右衛門、同宮本善右衛門ほか2名、案内10名	—	写	縦帳	1冊	27.2×19.0			(奥注記)「紙数表紙共九枚、削字壹ヶ所」	表紙に内容摘要貼紙。「字鼈川端、なき樋より西、木津・難波境橋迄」の見附畑18筆、合計5畝13歩、高2斗7升、全て村持	土地
17	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂津国西成郡難波村新田検地帳 写	明和2.10.-	御代官内藤十右衛門、手代大塚富右衛門、同宮本善右衛門ほか1名、案内4名	—	写	縦帳	1冊	26.8×19.0			(奥注記)「紙数表紙共四枚、削字なし」	表紙に内容摘要貼紙。「九郎右衛門町裏作場道」の上畑1畝3歩、高1斗6升5合、村持	土地

20 摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)(現 大阪市浪速区難波中・中央区難波付近)
ア7-10-7-3~6

資料 番号	文書群名	表題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書など	説明・注記	主題
18	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂津国西成郡難波村新開田畑 検地帳 写	安永6.11.-	御代官万年七郎右衛門、手代 渡辺富右衛門、同杉田忠助ほか 1名、案内3名	—	写	縦帳	1冊	26.9×18.8			(表紙貼紙)「安永七戌年御高入二 成」 (奥注記)「紙数六枚、表紙共、削字 此所共三ヶ所」	表紙に内容摘要貼紙。「字丸島」・「字 中堤」の田畑9筆、合計1町4反6畝3 歩、高11石5斗7升7合、全て村持。18・ 19同内容。奥に新田へ諸懸り物は掛 けない旨の一札につき村役人の覚書	土地
19	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂津国西成郡難波村新開田畑 検地帳	安永6.11.-	御代官万年七郎右衛門、手代 渡辺富右衛門、同杉田忠助ほか 1名、案内3名	—	写	縦帳	1冊	24.0×15.3			(奥注記)「紙数六枚、表紙共、削字 此所共三ヶ所」	18・19同内容	土地
20	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	摂津国西成郡難波村新開田畑 検地帳 写	寛政5.11.-	御代官羽倉権九郎、手代田中 寿兵衛、同坂田祐八ほか1名、 案内3名	—	写	縦帳	1冊	26.7×19.0			(表紙貼紙)「寛政六寅年御高入」 (奥注記)「紙数表紙共五枚、削字此 所とも貳ヶ所」	表紙に内容摘要貼紙。「鼈井路筋」・ 「十三間川」の見附田畑8筆、合計7反7 畝24歩、高4石6斗1升3合、全て村持	土地
21	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	前々より村高増減帳 難波村	〔近世後期〕.-	—	—	写	縦帳	1冊	27.5×19.7	虫損小			延宝5年検地以前より寛政5年まで、最 終合計1419石3斗3升3合	土地
22	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔帙〕(「地並帳 五冊 摂州西 成郡難波村」)	〔近世後期 か〕.-	—	—	原	帙	1点	27.0×21.0	虫損小、 破損小	22の帙に22-1 ~5を収納		文字は黒漆、帙の周囲・折目を黒漆で 補強、小口の見出しを守るため木片を 付ける	土地
22-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	中堤より東浜地並帳 壹番 浜	文政9.8.-改	〔池田〕	—	写	縦帳	1冊	27.4×19.9	虫損小	22の帙に22-1 ~5を収納	(表紙貼紙)「東河原・南河原・北河 原・大……向岸・上大里・なき・下大 里」(地名8) (表紙裏貼紙)「墨番附、絵図之番附 也、朱番附、御検地帳写番附也」 (地に記載)「地並帳 壹」 (裏表紙)「池田」	両表紙の周囲を黒漆で補強、小口に 地名の見出しを付ける。1筆ごとに合 印。名請人変更の貼紙多し。地目変更 で「新建家場」になった所が多く、朱字 で記す。生玉社領は含まれず、地番の 間に存在するときは朱字で注記。防虫 用薬包の挟み込み1点あり	土地
22-2	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	中堤より東内台地並帳 貳番 内台	文政9.8.-改	〔池田〕	—	写	縦帳	1冊	27.4×19.8	虫損小	22の帙に22-1 ~5を収納	(表紙貼紙)「北ノ上・叶田・東裏手・ 北ノ……枕・南通南側外保・吉原 跡」(地名16) (地に記載)「地並帳 貳」 (裏表紙)「池田」	両表紙の周囲を黒漆で補強、小口に 地名の見出しを付ける。1筆ごとに合 印。名請人変更の貼紙多し。地目変更 で屋敷地になった所多く、生玉社領が 地番の間に存在するときは朱字で注 記。「是より穢多屋敷跡畑成戻り地… …」65筆あり。防虫用薬包の挟み込み	土地
22-3	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	中堤より西元島地並帳 参番 元島	文政9.8.-改	〔池田〕	—	写	縦帳	1冊	27.5×19.9	虫損小	22の帙に22-1 ~5を収納	(表紙貼紙)「おい通・叶田・南築手 木九……通・三立葉通・堤添・堤下 道」(地名11) (地に記載)「地並帳 三」 (裏表紙)「池田」	両表紙の周囲を黒漆で補強、小口に 地名の見出しを付ける。1筆ごとに合 印。名請人変更の貼紙多し。御用地に なった所が地番の間に存在するときは 朱字で注記。地目変更少なし。防虫用 薬包の挟み込み2点あり	土地
22-4	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	中堤より西新田地並帳 四番 新田	文政9.8.-改	〔池田〕	—	写	縦帳	1冊	27.5×19.9	虫損小	22の帙に22-1 ~5を収納	(表紙貼紙)「久保吉・同東側・徳利 通西……塩草・中塩艸・南塩艸・小 田」(地名13) (地に記載)「地並帳 四」 (裏表紙)「池田」	両表紙の周囲を黒漆で補強、小口に 地名の見出しを付ける。1筆ごとに合 印。名請人変更の貼紙多し。検地帳写 と引合せの朱番号以外、朱字少なし。 防虫用薬包の挟み込み1点あり	土地
22-5	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	向島・鼈川端・作場道・丸島中 堤地並帳 五番	文政9.8.-改	〔池田〕	—	写	縦帳	1冊	27.4×19.8	虫損中	22の帙に22-1 ~5を収納、 22-5に22-5-1 を挟み込み	(地に記載)「地並帳 五」 (裏表紙)「池田」	両表紙の周囲を黒漆で補強、小口に 地名の見出しを付け、各見出しごとに 追加検地(12・14・16~19)の中表紙を 置く。地並絵図添付4か所あり。付紙お よび名請人変更の貼紙多し。朱注記な	土地
22-5- 1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔断簡〕(「前以此段奉願候、已 上」)	〔近世後 期〕.5.1	—	—	写	断簡	1点	12.2×8.5		22-5に22-5-1 を挟み込み		綴じ穴あり。書写する時の当て紙か	土地
23	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	屋敷仕分ヶ帳	文政10.9.-改	〔池田〕	—	写	縦帳・帙 入り	1冊	28.0×20.4	虫損小		(奥注記)「紙数本紙八拾五枚」 (地に記載)「屋敷仕分帳」 (裏表紙)「池田」 (帙上書)「屋敷仕分帳 難波村」	表紙綴じ目に「難波村」印あり。1筆ご とに合印。名請人変更の貼紙多し。防 虫用薬包の挟み込み4点あり。帙の形 式は13と同じ	土地
24	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	田畑名前仕分絵図 摂州西成 郡難波村	〔近世後期〕.-	—	—	原	絵図帳	1冊	28.0×21.4				表紙は帙の形式。地並切絵図(多色) 16枚(イ~タ)を綴じる。朱字で地番を 入れる。	土地 絵図
25	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	新建家場絵図控	文化7.--(~ 文政9.-)	〔池田〕	—	原	縦帳・紙 箱入り	1冊	30.7×22.4 (箱)33.2 ×24.5× 3.0	箱破損小		(裏表紙)「池田」 (箱上書・朱漆)「新建家場絵図控」	両表紙の周囲を黒漆で補強、小口に 括り紐あり。見出し3(新祇園町・戎町・ 上ヶ地)あり。それぞれに年ごとの新 建家場の石高・反別・取米と絵図が入 る。名請人変更の付箋多し。奥22丁は 白紙。防虫用薬包の挟み込み1点あ り。紙箱は被せ蓋で真田紐付き	土地 絵図

20 摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)(現 大阪市浪速区難波中・中央区難波付近)
ア7-10-7-3~6

資料 番号	文書群名	表題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書など	説明・注記	主題
26	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	新建家反別井二絵図 築山茂左衛門様御支配之節	天保10.-.-	〔池田盛長〕	—	原	縦帳	1冊	33.0×22.4	虫損小	26に26-1を挟み込み	(裏表紙)「池田盛長」	朱字で地番記入。天保10年、「免十」と「免七ツ」に分けて記す。奥に絵図をまとめる。名請人変更の付箋多し	土地 絵図
26-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔断簡〕(「諸国」)	〔近世後期〕.-.-	—	—	原	断簡	1点	12.3×8.5		26に26-1を挟み込み		書写する時の当て紙か	土地
27	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	新建家場御免	天保14.-.-	〔池田〕	—	原	縦帳	1冊	27.5×21.4			(裏表紙)「池田」	字向岸341・342番関係、「十ヲ免」にて上納	土地
28	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	屋代増之助御代官所摂津国西成郡難波村新田高反別帳控	文久1.8.-改	右(摂津国西成郡難波村)新田地主与兵衛(印)	屋代増之助様御役所	原	横帳	1冊	14.2×40.5		28に28-1を挟み込み		宝暦8年検地、反別8反6畝6歩、高12石2斗5升4合分、13筆全て当時与兵衛	土地
28-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔覚〕(別帳に記載につきこの帳は不要)	〔近世後期〕.-.-	—	—	写	切紙	1点	16.5×6.2		28に28-1を挟み込み			土地
29	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔袋〕(「在中道井田畑井路道幅杭帳式冊・右帳面番附引合絵図壹枚入 摂州西成郡難波	〔近世後期〕.-.-	—	—	原	袋	1点	35.5×23.5	破損・虫損小	29の袋に29-1～3を収納		マチなし、括り紐付き。大丸(下村呉服店)の袋か畳紙を再利用	土地
29-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	北ノ上・叶田・大浜・西浦・東裏手在中杭帳 上	享保15.3.吉	—	—	写	縦帳	1冊	26.8×20.1		29の袋に29-1～3を収納	(1丁裏貼紙)「此張紙、文化年中頃ニいたし候、但、番附見合絵図添」(裏表紙)「池田」	万治3年3月の古帳を元に貞享2年に改めた帳に基き、さらに改めたもの。朱字で1～248の杭番号を表示、杭の位置とそこの道井路幅を示す。周囲の土地の表示に貼紙多し。要所に山形	土地
29-2	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	内台・元島・新田・小田井路道杭帳 下	享保15.3.吉	—	—	写	縦帳	1冊	26.9×20.0		29の袋に29-1～3を収納、29-2の表紙に29-2-1を挟み込み	(裏表紙)「池田」	朱字で249～493の杭番号を表示、杭の位置とそこの道井路幅を示す。周囲の土地の表示に貼紙多し。要所に山形印あり。防虫用薬包の挟み込み1点あり	土地
29-2-1	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔書上〕(南側・北側分田畑につき)	〔近世後期〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	24.6×46.8		29の袋に29-1～3を収納、29-2の表紙に29-2-1・2を挟み込み		620・630番代の地番あり、田畑の面積・請負人名を記す	土地
29-2-2	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔書上〕(東西間数につき)	〔近世後期〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	18.2×51.5		29の袋に29-1～3を収納、29-2の表紙に29-2-1・2を挟み込み		井路道際の田畑についてのものか	土地
29-3	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔杭帳式冊番附引合絵図〕	〔近世後期〕.-.-	—	—	原	絵図(多色)・袋入り	1枚	60.9×101.2	虫損小、袋糊外れ	29の袋に29-1～3を収納	(袋表書)「享保十五庚戌年三月吉……番附引合絵図入 池田氏」	難波村内の正確な絵図で、杭の位置を番号で示す。1番は南辺中央、鼈川筋井路から始まる	土地 絵図
30	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔午御年貢銀取集帳 北・山之町〕	弘化3.9.-	—	—	原	縦帳	1冊	23.0×16.9	表紙破損・落書き中、シミ・虫損小			難波村北之町・山之町の年貢・村小入用・村借済方銀。合計高409石7斗4合、銀35貫90匁5分4厘	貢租
31	摂津国西成郡下難波村文書(鍋釜)	〔難波村寺社庵明細帳〕	〔近世〕.-.-	—	—	原	横帳・木箱入り	1冊	16.6×23.4(箱)20.1×25.9×5.0(最大)	表紙劣化中、破損・虫損小			各寺社庵の来歴、普請願などにつき享保頃から文化頃まで書き継ぐ。専用木箱はカマボコ型で丁寧な作り	寺社 由緒